

令和4年度教育未来委員会行政視察報告書

教育未来委員会委員長 田畑 直子

【視察日程】 令和5年1月19日(木)

【視察委員】

委員長 田畑 直子

副委員長 伊藤 隆広

委員 伊藤 康平、阿部 智、松井 佳代子、岩井 雅夫
麻生 紀雄、中村 公江、三瓶 輝枝

【視察地及び調査事項】

真砂中学校かがやき分校(公立夜間中学)

・令和5年4月の公立夜間中学開校に向けた準備状況等について

【視察報告】

真砂中学校かがやき分校(公立夜間中学)

調査目的	令和5年4月に開校予定の公立夜間中学を視察し、準備状況や今後の課題等について調査を行う。
視察概要	<p>1 調査項目 令和5年4月の公立夜間中学開校に向けた準備状況等について</p> <p>2 対応者 教育総務部長(香取 徹哉)、企画課長(望月 宏次)、 真砂中学校長(山崎 二郎)、高等特別支援学校長(三宅 健二郎)、 その他関係職員</p> <p>3 主な質疑応答(□:質疑、■:答弁)</p> <p>□ 入学希望者は現在26名ということだが、募集はいつまで行うのか。</p> <p>■ 入学希望者の受付については、入学願書受付期間終了後も9月末まで随時受け付ける予定である。修学の期間が半年以上ないとしっかり学ぶことができないと考える。</p> <p>□ 様々な生徒が来ることから、個別指導が必要になる場合があると思うが、どのような形で対応するのか。</p> <p>■ 生徒には個々の能力、学力の差があるが、1つの授業に対して1人の教員が行うのではなく、複数の教員で行う形をとる。 教室内で分けるほか、多目的室など広い部屋を活用することも考える</p> <p>等、始まってみないとわからない部分もあるが、限りあるスペースを使って教員を複数つける形で対応したい。</p> <p>□ 外国籍の方が結構いるとのことだが、日本語のレベルについてどのように捉えているか。また、日本語で日常会話ができる方は何人いるのか。</p> <p>■ 現在入学願書を出している方に面談を行っているが、普通に会話ができる方から、まだ来日して数日という方もおり千差万別である。面談はまだ進めている途中であり、日本語で日常会話ができる方の具体的な人数までは把握できていない。</p> <p>□ 入学を希望する方で日本語が全くできない場合、本人のためにも日本語教室</p>



【視察の様子】

に通われた方が良いと考えるが、その選り分けはするのか。また、そのような方は夜間中学の対象となるのか。

■ 夜間中学は日本の中学校の勉強をするところであることから、日本語学校とは別のものとしてお話し、日本語を学びながらでも中学校の学習をしたいという方に来ていただきたいとお伝えしている。本人のためになるよう、面談の中でしっかり話し、対応していく。

□ 今、何か国の方から入学の希望が来ているのか。また、多国籍の方がいる中で、日本語だけで授業が進められないときにタブレットを利用して翻訳しながら教えるなど、どのようにして教えていくのか。

■ 入学の希望は中国、アフガニスタン、イラン、フィリピン、ネパールの5か国から来ている。松戸市の夜間中学では、日本語が全く分からないという生徒に対して、ポケットクで翻訳しながら、先生が2人で対応しているという状況で、かなり時間も要していた。真砂中学校かがやき分校では、ポケットク等を利用したり、各学年に日本語指導教員を1人ずつ配置する方向で進めている。

1つの授業に複数職員が入り、さらに日本語指導教員も配置することで、日本語が苦手な生徒に個別に対応していく。

□ 教育課程の編成について、どのような教科があるのか。運動、あるいは技術科とか家庭科といったものも入るのか。

■ 夜間中学は特別な教育課程の編成が認められているので、1週間に20コマ、1時間40分の1日4コマ授業で編成している。昼間の中学校とは異なるが、国語と数学が週4コマ、理科と社会は週2コマ、外国語は週3コマ、他の技能教科に関しては全学年合同で週1コマとして進める予定である。

□ 音楽室で楽器を教えることも考えているか。また、技能教科を通して自分の趣味や特技を伸ばしたいという人もいるかもしれないので、多様に対応していただくと入学を希望する生徒も増えてくるのではないかと。

■ 通常に中学校でやるような音楽の授業は難しいと考えているが、ギターなど個々でできるようなものを中心に考えている。美術については絵画などができると思う。教育指導課が学習指導に係る年間指導計画を作成しているところであり、現在検討を進めている。なるべく通常の中学校と近い運動や美術もできるようにしていきたい。

□ 先生方の働き方として、授業までの準備時間が勤務時間の半分に当たる4時間もあり、開校当初はいろいろとやることがあるかもしれないが、慣れてくると先生方のモチベーション低下が懸念される。先生方のモチベーションが下がらないようにフォローしていただきたいが、計画などはあるのか。

■ 教育職員課から聞いている話では、夜間中学で教えることに興味を持っている先生はかなりいるとのことから、関心の高さはうかがえる。準備時間は4時間ある

が、最初のうちはその日の授業をどのようにしようかということに費やされるのではないか。ある程度慣れてきたら、研修を受けるなり近隣市を含めた学校見学をするなど、自身の夜間中学で教えるための資質能力向上に努めることが考えられるが、まだ経験のないことなので、時間の使い方の見通しは難しい。

□ 夜間中学に関心の高い先生も多いとのことだが、ここでやるノウハウを次のところで広げていただくことも考えていくべきだと思うが、そのあたりの計画を教えてください。

■ 夜間中学の教員の育成については、それ以外の教員と同様、計画的に人事異動が行われる。開校当初に配属された教員は、自身の力をつけていくことになるが、ある程度年数が経ったらその経験を周りに伝えていただくことで、新たに関心を持った先生が夜間中学への赴任を希望してくれるのではないかと。

また、通常の学校に戻っても、国際教育などいろいろなところで経験が生かせると思うので、好循環が築けるようにしていかなければならないと考えている。

□ 生徒について、学び直し、進学、就職などどのような考えをもって夜間中学に入ってくるのか、教えてください。

■ 紛争から逃れてやってきた学びの途中の方や、進学したい方、既に働いていてキャリアアップをしたいという方など様々である。

□ 今後、市外在住の生徒が市内在住の生徒を上回るなど、バランスが崩れた場合の財源は、どのように考えている。

■ 今の入学希望者26人は市内在住が16人、市外在住が10人であるため、松戸市や市川市の事例を見ると、他市に負担を求めるようなことはしていないので、現在は考えていないが、市内在住と市外在住が逆転した場合には検討することもありうると考える。

□ 更衣室について、生徒は若い方から年配の方まで幅広くいることから、部屋はもちろん男女別であるが、そこに至るまでの入り口が一緒であるというのは古いスタイルだと思う。先々は、何かしらの工夫をしていただけて分けていくことを強く要望したい。

■ 開校に当たってはスペースの関係から狭い更衣室で対応せざるを得ないが、運営が始まってから、空いている教室の活用や時間で分けるなど、できるかどうか検討させていただく。

□ 希望をもって通っていただくことが大事であり、多感な時期に経験できなかったことを今一度経験してもらって、学校というところに対する思い出と経験をぜひ作ってもらいたい。様々な事情をもつ方がいらっしゃると思うので、自分たちの主観で完結するのではなく、市では様々な不登校対策や引きこもりの対策なども行っていることから、関係機関としっかり連携して夜間中学をたくさんの方に卒業していただきたいと考えるが、今後の取組の中で市内連携をどのように考えて取り組

	<p>んでいくのか教えていただきたい。</p> <p>■ 庁内連携と言われて思い浮かぶのはこども未来局であるが、具体的な検討はこれからしていきたい。学習外活動も必要に応じて取り入れていくことで様々な経験をさせていただき、希望を持って通っていただくことのできるような学校になるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>主な 委員所感</p>	<p>○ 設備面においても空間的な余裕を持ち、使用しやすい大人向けの作りになっていた。また保健室やカウンセリング室、多目的室などの福祉的機能も充実している。</p> <p>教員の確保については苦労があるかと思うが、尽力してほしい。</p> <p>教育現場と教育委員会が一体となって多様な学びの場を提供できることが、大きな意義であると感じた。</p> <p>地域の方にも理解をいただきながら進めていただきたい。</p> <p>○ 市外在住の生徒も多いことから、運営にかかるコスト面は、今後の状況をとらえて対応を検討する必要があると感じた。</p> <p>○ 4月の開校に向けて環境の準備が計画的に進んでいる。</p> <p>生徒募集に関しては今後も増えていくと思われる。学年の分け方が課題になるのではないかと感じた。</p> <p>教育課程を工夫し、実技教科も取り入れながら指導してほしい。</p> <p>○ 成績のつけ方が難しいのではないかと感じた。</p> <p>環境的に十分検討されていると思う。</p> <p>先生方の働き方が通常と全く違うため、フォローが必要ではないかと感じた。</p> <p>○ 入学希望者に外国の方が多く、驚いた。可能であれば面接時に、夜間中学がいいのか日本語教室の方がいいのか、ルールを作ってください、必要な方に夜間中学に入ってもらいたいと思う。</p> <p>更衣室については、部屋だけではなく、出入り口から徹底して分けるようお願いしたい。</p> <p>○ 入学希望者の半数以上が外国籍であることから、今後のソフト面での対応が課題になるとと思われる。</p> <p>個別学習や言語レベルの対応など様々であり、開校後も試行錯誤が続くと考えられるが、課題は先送りにせず、様々な機関や国、地域などと連携することが求められると感じた。</p>

	<p>年齢や世代がまちまちであり、これまでの中学校の概念が問われ、生徒の背景にも目を向けなければならない状況になると思われるが、先生方の研修を充実し、また支える体制についても検討していく必要性を感じている。</p> <p>今後の学校の役割に期待している。</p> <p>○ 外国から来た方に教えるのは大変だと思うが、10代から60代までが集まっている展開は楽しみである。開校してからも状況を見てみたい。</p> <p>給食についてもアンケートを取ってぜひ実現していただきたい。</p> <p>○ 経済的理由や本国で義務教育を受けられなかった外国人が対象だった夜間中学だが、不登校を理由に中学校に通えなかった方など、新たな学び直しの場合となっている。</p> <p>願書の提出が26名、定数を必ず満たす必要はないと考えるが、学校で学べる喜びを知ってもらいたい。</p> <p>千葉市にあることをもっと周知し、入学したいと思える取組に期待したい。</p>
--	---